

水害を考ふる

1. 災害について

中川村中川東中学校二年

Y・K

今度の災害で僕たちの中川村はどうとう大きな被害を受けた。中川村の内でも四徳や桑原の方の被害は特に大きかった。僕は今度の災害について次のような事を思った。

僕たちの住んでいる中川村には山がたくさんある。だがその山もはげ山や木を切ったまま植林をしてない山がたくさんある。

だから今度のように急にたくさん雨がふったような場合には、降った雨が一度にせまい谷川に流れこんで下流の方へ土砂といっしょに流れ下るのだから。

また植林してない山は木の根が残っていないために、大雨がふったり長く雨が降り続いたりすると、地ばんがゆるんで土砂くずれをおこす。そのためおしながされた土砂が家屋や田畑をうずめ、時には尊い人命までもうばってしまふのだから。

またふだんはあまり水のないような川でも、雨が長く降り続いたり、急に大雨が降ったような時には、氾濫し大きな被害を引きおこす。だが現在僕たちの

まわりのこういった川には、どういう、いざというときにぞなえの土手や堤防などの作ってない川が多い。これも大きな災害を起こす原因の一つだと思ふ。ラジオのニュースで聞くと、今度のような非常事態にぞなえの連らくもうなびがマッマいして、災害も最小限度にとどめた村もあるぞうだ。僕たちの中川村でも今度の水害のような大きな災害が起こった場合には、早くひなんぞき、少しづつ被害を少なくするようにしたら良いと思ふ。

(三十六年)